

報告

平成21年度

医師会立准看護学校連絡協議会

常任理事・医療関連事業部長 北野 明宣

7月5日(日)午前10時から北海道医師会館8階会議室において、医師会立准看護学校11校の関係者24名に参集いただき開催した。

なお、今年度から北海道保健福祉部が昨年度まで開催していた「准看護師養成施設長及び教務主任会議」の説明および報告を本協議会内で行うこととなった。

藤井常任理事により開会、長瀬会長から『医師と同様に看護師不足も問題となっている。日本医師会が行った潜在看護職員再就業支援モデル事業の報告書によると約70%の方が再就業の意思があることが分かった。今後、何かしらの対応などが必要ではないかと思う』などの挨拶があった。その後、小職より①日本医師会医療関係者対策委員会②平成20年度都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会③日本医師会「看護職員確保対策」潜在看護職員再就業支援モデル事業④北海道ナースセンター事業⑤修学金(奨学金)のアンケート結果の5項目について説明および報告を行った。

北海道保健福祉部からは「准看護課程・看護2年課程の入学状況等」「母性看護学実習に係る調査結果概要」「看護職員養成修学資金」「看護師等養成所運営費補助金」「教員養成講習会の受講状況」「実習指導者講習会」「厚生労働省看護関係検討会の情報提供」「看護サミット」の8項目について説明および報告があった。

北海道医師会からの報告

①日本医師会医療関係者対策委員会について

平成20年度は4回開催され、第1回では「将来を見据えた看護職種の制度・資格のあり方について」の会長諮問の下、フリーターキングが行われ、「4年制大学化問題」「看護師等養成校の定員オーバー」「実習先確保問題」「専任教員の確保・拡充問題」など養成校の運営に関する意見が多く出された。

第2回では野村陽子厚生労働省看護課長を招き、「平成21年度予算概算要求の概要等」について説明

を受けた。その後の意見交換では、「7対1看護による看護師不足」「男性看護師問題」「補助金の減額問題」などの意見が出された。

第3回では田中滋慶応義塾大学教授を招き、「看護基礎教育のあり方に関する懇談会」「看護の質の向上と確保に関する検討会」について報告を受けた。その後の意見交換では「男性看護師問題」「看護師の役割に対する考え方」「地域医療にかかわりにくい高学歴看護師」などの意見が出された。

第4回では舩添厚生労働大臣宛に提出する「看護職員にかかる要望書」[別掲]をまとめた。

②平成20年度都道府県医師会医療関係者担当理事連絡協議会について

『看護職員を巡る最近の動向』について、羽生田俊日本医師会常任理事からは「看護職員養成の現状」「看護職員の質の確保」「役割分担の見直し」など、野村陽子厚生労働省看護課長からは「看護職員の確保」「新人看護職員の課題」などについて報告があった。

また、各都道府県医師会を対象に事前に行ったアンケート結果から、看護職員養成校の運営に関する工夫の中で特に多かった回答の紹介や日本医師会への意見・要望の中で複数あった項目に対して回答した。質疑応答では当会から出席した水元監事から「母性実習のビデオ学習」を認めるよう要請を行った。

③日本医師会「看護職員確保対策」潜在看護職員再就業支援モデル事業について

15の都道府県医師会がモデル事業を実施し、アンケートを行った結果、49.6%の有効回答率があった。アンケート結果から(1)育児にかかわっている女性が多い(2)再就業を希望する意欲がある(3)仕事と育児・家庭との両立を望んでいる(4)休暇のとりやすさや院内保育所・学童保育など育児に対する配慮を求めている(5)通勤時間のかからない近隣医療機関を希望している(6)短時間勤務などの勤務形態を望んでいる(7)離職後のブランクを埋めるための研修を望んでいるなどの傾向が見受けられた。

④北海道ナースセンター事業について

北海道看護協会と北海道ナースセンター事業運営委員会が密接な連携のもと「看護職の求人・求職合同面接会」と「再就業のための体験研修」を北海道の委託事業として行っていることや概要について説明した。

⑤修学金(奨学金)のアンケート結果について

道内医師会立准看護学校11校に対しアンケートを行い、各設問に対し回答があった箇所について報告した。

北海道保健福祉部からの報告

医師会立看護師等養成所を対象に入学状況等に関するアンケートを行った結果、平成20年4月の入学生

は11施設556名定員の所に1,623名の応募があった。
このうち604名が合格し、540名が入学した。

その他、卒業状況等の結果から、准看護学校の入学者、および定員充足率ともに減少傾向にあり、准看護学校卒業者の約6割がストレートに看護2年課程

に進学している。

また、看護2年課程の入学者が減少し、定員の約2割が欠員している状況であり、入学者の約55%が准看護学校からのストレート進学者であることなどを報告した。

平成21年3月

厚生労働大臣

舛添要一殿

日本医師会長

唐澤祥人

看護職員養成にかかる要望書

時下益々清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、改めて申し上げるまでもなく、わが国の医療提供体制は、今や崩壊の危機に瀕しております。患者さんの生命を救うために、今も現場の医師やコメディカル達は過酷な状況の下、懸命に対応していますが、その疲弊は既に限界に達しております。

医師不足・偏在に対しては、医学部定員増等の対策が打ち出されていますが、地域医療を医師と共に支えている看護職員の不足もまた深刻を窮め、看護職員不足による病棟の閉鎖等も起きており、国による早急な対策が必要であります。

現在、厚生労働省の看護施策は、専門性の高い看護職員の育成に重点が置かれていますが、量的な確保は喫緊の課題であり、そのためには離職防止だけではなく養成力の強化も重要と考えます。

看護職員の養成は、国が責任をもって行うべきものであることは、従来より厚労省も認めているところであります。しかしながら国の取り組みが不十分であったことから、戦後、各地の医師会が様々な困難を乗り越えて看護職員の養成に携り、地域医療を支えてまいりました。看護職員の養成は、看護師等養成所運営費補助金によるところが大きく、加えて医師会からの多額の繰り入れにより成り立っているのが現実です。経営面での困難に加え、養成にかかる各種規制の厳しさから、養成を断念せざるを得ないところも出てきており、養成力の脆弱化を非常に危惧しております。

日本医師会として、看護職員養成にかかる以下の問題について、早急な対応を求めます。特に、予算措置を伴わない、厚生労働省の裁量により充分対応可能な事項につきましては、地域医療の崩壊を阻止するため、早急に実行していただくよう強くお願い申し上げます。

要 望 事 項

1. 看護師等養成所運営費補助金の増額及び早期交付

看護職員の養成は、多額の費用を要すとともに、官民格差が著明である。民間の看護師等養成所においては、養成費用を全て若い生徒に負担させることは困難であり、補助金に頼らざるを得ないのが実情である。ここ数年の補助金基準額は現状維持が続いているが、各都道府県では地方財政厳しき折から、満額補助しないケースもあり、各養成所は苦しい運営を迫られている。国による補助金の増額を求める。

また、交付時期についても、過去には年度を過ぎて交付されたケースもあり、備品の購入が遅れたり、借入金の返済等にも影響を及ぼし、学校運営に支障を来している。できるだけ早期の交付をお願いする。

2. 入学時の定員の緩和

養成所に入学後、家庭や経済的な事情、適性の問題などで退学するものは少なからず存在し、学生数の減少は、将来の看護職員の確保及び学校運営に大きな影響を与える。養成力を最大限に活かし、安定的な学校運営を行うためにも、入学時の定員超過について、厳しく規制しないようお願いする。

3. 母性・小児看護学実習の柔軟な対応

少子化により、母性・小児看護の対象となる妊産婦・小児が減少し、また医師不足等により産科を閉鎖する医療機関が増えている中で、実習施設の確保が困難を窮めている。

また、男子学生の母性実習は特に受入れが困難である(患者さんの理解も得られない)。

そこで、母性・小児看護学実習については、ビデオやIT等の教材を活用した学習で可とすることを求める。特に男子学生については、看護職員となった後に、母性看護に関わる現場に配属されることはほとんどないと思われ、ビデオ等による学習でも充分であると考えらる。

4. 看護教員養成講習会の通信教育の再開等

現在、看護教員養成講習会の開催は全国12箇所にとどまり、自県で開催されない場合は他県の講習会への参加が必要となっている。また、代替教員の確保や経費の面で多大な負担となっている。

教員養成講習会の通信教育制度の再開や、受講対象者要件の緩和と講習期間の短縮など負担軽減を求める。

5. 看護師等養成所校舎の耐震改修費補助

医療施設については、新耐震基準を満たしていない施設の耐震改修にかかる補助金制度がある。看護師等養成所は、建築物の耐震改修の促進に関する法律の対象ではないが、安全性の確保の観点から、耐震にかかる費用も補助対象とすることをお願いする。

6. 雇用調整者が准看護師・看護師資格を取得するための支援

介護分野のみならず、医療分野においては看護職員が不足している。期間労働者の契約中止、正社員の解雇等の雇用不安が広がる中で、これらの者が准看護師・看護師資格を取得しようとした場合に、入学金、及び授業料等に対して助成するなど、資格取得のための支援をすることをお願いする。